



内子座 藝於遊

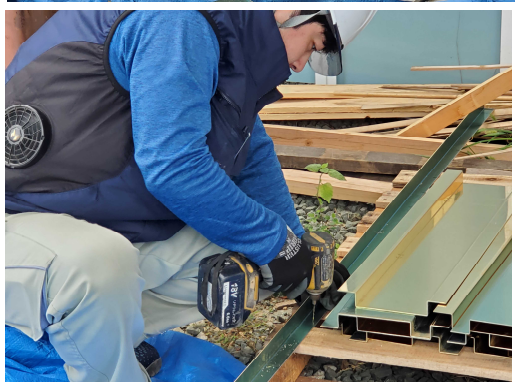


壁補強用真鍮板の加工・取付

令和8年8月28日、内子座に大量に運ばれた真鍮の加工が行われ、壁への取り付けが始まりました。壁補強用にポリカーボネート板を取り付けていきますが、さらにその性能を活かせるよう、ポリカーボネート板を取り付ける四方に真鍮を取り付けることになっていて、内子座の壁のサイズに合わせて切断加工されていきます。その後付け貫や、隙間調整用に取り付けられている木の調整材に取り付けられ、ポリカーボネート板の取付準備が整っていきしました。



真鍮取付の様子(8月28日撮影)



写真左の列は、真鍮を加工している様子です。上から、付け貫に取り付ける真鍮の切断、それ以外の木の調整材に取り付ける真鍮の切断、そして、ビス止めをするためにあらかじめ穴をあける作業の様子です。穴のピッチはおよそ10cm間隔。職人さんによると、ポリカーボネート材は400枚を超える枚数になるそうで、それに対するすべての面でこれらの加工作業が必要になります。膨大な作業量！右列は、真鍮が取り付けられた様子です。上は付け貫に取り付けたところ。下はある壁の一面の四方に真鍮を取り付けたところ。付け貫に木の調整材の取付、そして真鍮の加工と取付、さあ、補強用ポリカーボネート板の登場間近です。